

家根合生態系保全活動センターが環境大臣表彰受賞

NPO法人・家根合生態系保全活動センターが、地域環境保全功労者として環境大臣表彰を受賞しました。同センターは、家根合集落でメダカ保全池「めだか池」の維持管理に努め、メダカの生育環境を守っています。また、県やJAと連携して、余目第一小学校の児童を対象にした魚の学習会や農作業体験を通して環境教育を推進しています。地域一体となった環境保全活動や農業体験学習を実施していることが評価されました。

佐藤昭一理事長（家根合）は、「色々な方から協力をいただきながらやってこれた。ぜひ次の世代にも繋げていきたい」と決意を新たにしていました。



梅木隆さんが旭日双光章受章

長年、町政の進展に尽力された功績により、梅木隆さん（跡）が旭日双光章の栄誉に輝かれました。

梅木さんは、平成2年7月に余目町議会議員に当選以来、平成17年の本町合併後は庄内町議会議員として、平成22年6月まで6期在職し、庄内町議会議長や厚生常任委員会委員長、議会運営委員会委員長などを務められ、議会の円滑な運営と地方自治の進展に尽力されました。また、庄内広域行政組合議会議員や山形県後期高齢者医療広域連合議会議員など多くの要職を歴任し、町の振興と住民福祉の向上に多大な貢献をされました。

梅木さんは「多くの方々の協力があったからこそ、このような章をいただけた。大変光栄でありがたい」と話していました。



みなさんおめで とうございます

余目生活学校の渡部さき子さんが内閣官房長官賞受賞

庄内町余目生活学校の渡部さき子さん（下堀野）があしたの日本を創る運動推進功労表彰内閣官房長官賞を受賞しました。

渡部さんは、昭和46年の余目町生活学校開校以来、48年間活動し、その間、運営委員長や山形県生活学校連絡協議会の会長を歴任。安全で暮らしやすい地域社会の創造に向けて、行政や事業所と話し合いながら、地域の生活環境の改善に尽力されました。レジ袋削減のためのマイバッグ推奨活動や食品ロス削減のための「フードドライブ」、高齢者福祉に取り組むためのシルバー人材センター設立など、幅広い分野で活動されたことが評価されました。渡部さんは「みなさんの協力があったからいただけた賞です。多くの方の支えに心から感謝します」と話していました。



廻館名木保存会が緑綬褒章受章

長年、社会奉仕活動に尽力された功績により、廻館名木保存会が緑綬褒章の栄誉に輝かれました。

同会は、昭和60年より国道47号線沿いにある廻館集落内の花壇づくり、除草・清掃を行っています。また、花の植栽活動のほかにも、花壇の隣にある大樺や一本松の枯葉処理、雪囲いなどの管理も行うなど、緑地の保全や美化活動にご尽力されています。

現在は、堀井正さん、関井満さん、石崎文志さん、梅木宏輝さん、佐々木豊年さん、齋藤衛さん（全員廻館）の6人で活動されています。会長の石崎さんは、「継続してやってきた活動が評価され大変光栄に思う。32年間、一緒に汗を流して頑張ってくれた同僚のおかげである。この活動を後輩に託していきたい」と話していました。

メンバーのみなさん▶

(写真左から)

堀井さん、関井さん、石崎さん

(写真右から)

佐々木さん、梅木さん

